

平成 24 年 12 月 28 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)

「ふくしま成長産業育成ファンド」第 1 号投資案件の実行について ～新生銀行と CYBERDYNE 社との間での業務協力協定も締結～

当行が投資を行う「ふくしま成長産業育成投資事業有限責任組合」(ふくしま成長産業育成ファンド)は、第 1 号の投資案件として、筑波大学発のベンチャー企業、CYBERDYNE 株式会社(以下、「CYBERDYNE 社」)の株式の取得を平成 24 年 11 月 15 日に実施いたしましたのでお知らせいたします。また、当行は CYBERDYNE 社との間で、同社事業展開の支援を目的とした業務協力協定を平成 24 年 11 月 15 日付で締結いたしました。

ふくしま成長産業育成ファンドは、福島県への中小企業の誘致ならびに育成を目的に、主な投資対象を再生可能エネルギー分野、医療分野として、これらの分野に注力する方針である福島県の復興・産業政策とのシナジー効果も図りながら、県内産業の育成と雇用の促進を通じて同県の早期復興および経済発展の支援を目指しています。株式会社ベンチャーラボ(東京都港区、代表取締役 山中唯義)が平成 24 年 10 月に組成し、当行は NEC キャピタルソリューション株式会社(東京都港区、代表取締役社長 安中正弘)ほかと共同で投資しています。

CYBERDYNE 社は、筑波大学システム情報系の山海嘉之教授の研究成果の実用化を目的に、つくば市に平成 16 年 6 月に設立されたベンチャー企業で、その研究成果のひとつであるロボットスーツ「HAL」®の研究開発・製造・販売に取り組んでいます。同社では、東日本大震災後の平成 23 年 11 月に福島県の地域振興の一環として福島県郡山市に新たな事業所を開設しており、その後も特に製品開発面において同事業所の業容を積極的に拡大していることから、ふくしま成長産業育成ファンドは、同県の復興への寄与が期待されるとして、同社を投資対象として選定いたしました。ふくしま成長産業育成ファンドでは、CYBERDYNE 社の株式取得を通じて同社への実践的な支援を通じて CYBERDYNE 社の事業展開への貢献を目指すこととしています。

また、当行では、CYBERDYNE 社と本協定を締結することにより、同社の事業領域における定期的な情報交換を行うとともに、同社への各種情報や支援等を提供いたします。当行は、CYBERDYNE 社との本協定を通じて、震災復興地域の振興ならびに医療用機器分野での中小企業の育成に貢献してまいりたいと考えております。

【CYBERDYNE 概要】

名 称	:	CYBERDYNE 株式会社 (http://www.cyberdyne.jp/)
設 立	:	平成 16 年 6 月 24 日
代 表 者	:	山海 嘉之氏(筑波大学システム情報系教授)
本 社 所 在 地	:	茨城県つくば市学園南 D25 街区 1
事 業 内 容	:	医療福祉機器および医療福祉システム、リハビリテーション支援機器およびリハビリテーション支援システムの研究開発 ほか
総 資 本	:	6,634 百万円(資本金 3,349 百万円、資本準備金 3,285 百万円)

【ファンドの概要】

名 称	:	ふくしま成長産業育成投資事業有限責任組合
ファンド規模	:	10 億 6 千万円
出 資 者	:	無限責任組合員(GP) 株式会社スカイスターファイナンス(ベンチャーラボグループ) 有限責任組合員(LP) 株式会社新生銀行 NEC キャピタルソリューション株式会社 ほか
期 間	:	投資期間 5 年、存続期間 10 年(ただし 2 年間の存続期間延長の可能性がります。)

以 上